

●ママ☆ほっとテラス
(子育て世代包括支援センター)
利用者数

年間
1,520人
(平成29年)

1日当たり6人程度
利用しています



ママほっとテラス 伊勢市 [検索](#)

●子どもの発達支援に
関する相談件数

半年間
199件

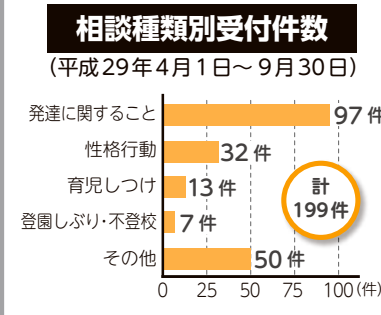
1日当たり2件
程度の相談を
受けています



こども発達 伊勢市 [検索](#)



今後も、出会い・結婚から
始まり、妊娠・出産・育児な
ど、ライフステージに応じた
支援を継続していきます。



子どもの発達に関する幅広い相談に対
応するため、平成29年度に「こども発達
支援室」の設置と「おひさま児童園」を開設
しました。



●障がい者サポーター

個人登録者数

864人



愛称: トモニ

企業・団体登録数

21企業・団体

(平成30年2月末現在)

困っている人を見掛けたら、「お手伝いしましょうか」など声掛けし、日頃の生活で支援を積極的に実践する人や企業・団体の皆さんの輪をさらに広げていきます。



市の障害者手帳交付者(平成29年4月1日現在)は6,941人。誰もが自分らしく暮らせるよう、市では障がいへの理解を深め、障がいのある人への支援につなげる「障がい者サポーター制度」に取り組んでいます。

障がい者サポーター 伊勢市 [検索](#)



伊勢市長 鈴木 健一

市民の皆さんにご協力いただいているアンケートなどの結果や、各関係団体からご提供のデータは市の現状などを知る上で、なくてはならない大切なデータです。まち全体が活気と笑顔にあふれ、幸せに暮らせるまちを目指して、これらの大切なデータをまちづくりに生かしていきますので、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

活気と笑顔があふれ
幸せに暮らせるまちを目指し、
収集したさまざまなデータを
活用していきます！

その背景には

●犯罪発生率

0.52%

犯罪発生率は、県内の人口10万人以上の警察署別の中では一番低くなっています！

犯罪

●伊勢市内の
自主防犯団体の数

97団体

(平成29年4月現在)

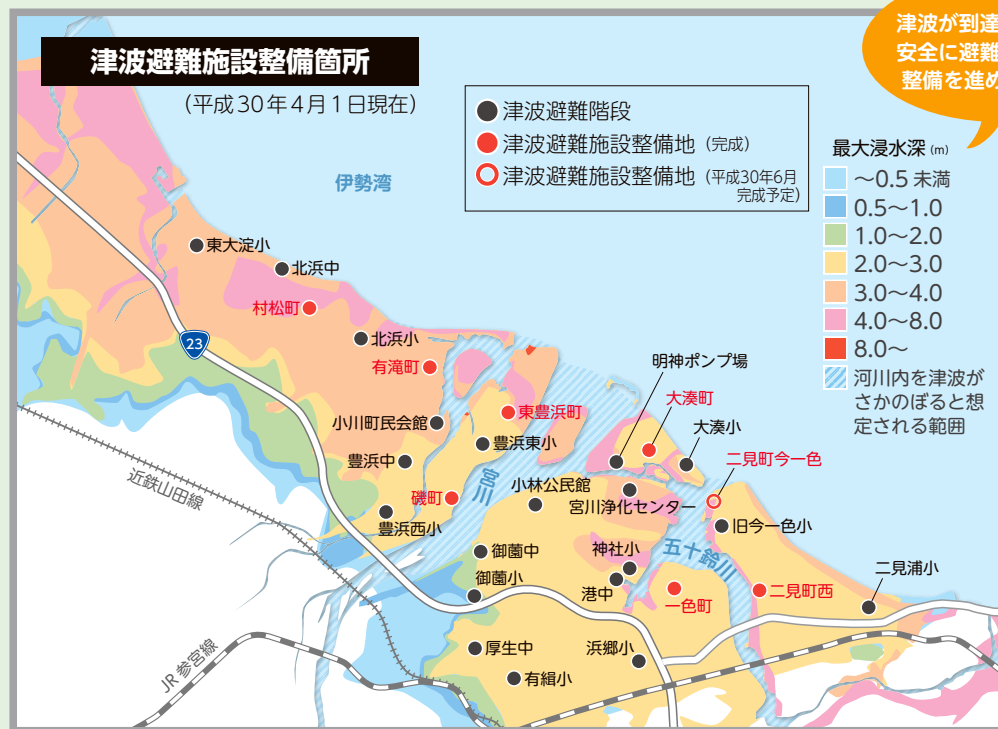
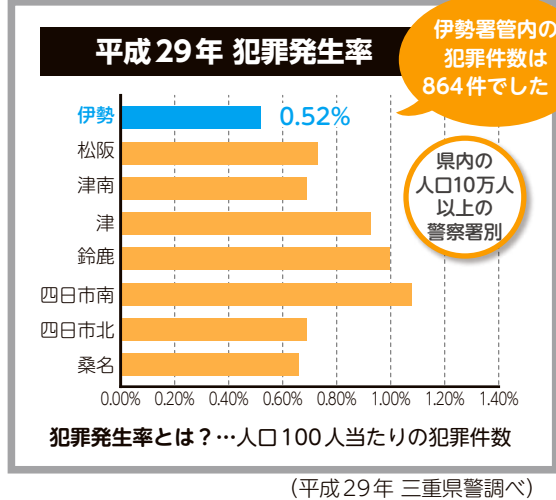


●伊勢市自主防犯団体
連絡会の構成団体の
街頭啓発・防犯活動回数

約 **170回**

(平成28年度)

グラフからも、伊勢は比較的安
なまちと分かります。犯罪発生率
が低いのは、市内の自主防犯団体
の皆さんなどが、安全安心
を守るために積極的な見守
り・啓発活動をしていること
が、大きく関わっていると
考えられます。



津波が到達するまでに
安全に避難できるよう
整備を進めています。

そのため

●南海トラフ地震の発生率

70~80%

(政府「地震調査委員会」発表)
マグニチュード8~9クラスの地震が、
今後30年以内に発生する確率です。

地震

●市内の津波避難箇所を

27箇所 整備

(内訳) 津波避難施設 7カ所
津波避難階段整備箇所 20カ所 (平成30年4月1日現在)

市民の皆さんの命を最優先とし、避難施設などの整備を進めています。平成30年6月に全ての津波避難施設の完成を予定しています。被害を最小限に抑えるため、特に沿岸部に居住の皆さんは、ハザードマップで津波避難施設などの詳しい場所を確認しておきましょう。



地震発生時は、自らを守る「自助」はもちろん、地域の「互助」が命を守り、つなげる上で、とても大切です。



ハザードマップ 伊勢市 [検索](#)